

インド・ネパール 58日間の体験記

23/07/2014~18/09/2014

MM

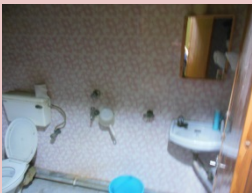
～1 週目～

■コルカタ着■

香港経由でコルカタ深夜着！ワクワクドキドキの気持ちとは正反対なコルカタの夜の街。どこも真っ暗、治安も悪そう、作りかけなのか、壊れているのかわからない建物がたくさん。とんでもないところ！大丈夫なのか？と思いつつも、ホームステイ先到着！

明日は早速市内観光！

ホストファミリーの
お部屋



トイレ兼シャワー



ベッドルーム



キッチン



居間？



ここの2階が部屋

■市内観光&ベンガル語レッスン■ (2 日目)



初めてガイドのカロルさんに会って、19歳少年とコルカタ観光！コルカタの寺院めぐり、ガンジス川支流での沐浴、ショッピングモールで南インドカレーの昼食、両替！

カロルさんにサダルストリートからホームステイ先までの帰り方を教わりつつ帰宅！夜7時から1時間のベンガル語レッスンが今日から始まり～！

■お散歩&ボランティア登録■ (3 日目)

午前中はフリーだったので近所のお散歩…という名の冒険！家を一步外に出ると犬にも歓迎され、牛の糞踏んづけて、大通り出ると時速100キロ位の巨大な鉄の塊「バス」が突っ込んでくる。外出れば気を休める瞬間はありません(笑)たくさんの人・動物・食べ物・乗り物と出会い、ランチ後、ボランティア登録会へ。

ShantiDan women 部門と Shishubhaban でのボランティアが決まりました。



コルカタの dangerous な乗り物たち

■ボランティア活動日の一日の流れ■

5:00	起床
6:15	221.223 のバスでリポンストリートへ
7:00	マザーハウスでチャイとバナナとパン頂いてシスターの連絡、施設ごとへ移動
8:30	ShantiDan でベッドメイキング・洗濯・スケビーなど皮膚病の方の治療
10:00	チャイとビスケットの休憩
10:30	後半はフルーツカット、脳活性化アクティビティ、ネイル、食事介助、トイレ介助
12:00	午前の活動終わってバスでサダルストリートへ
13:00	Bluesky や地元のカレー屋さんでランチ
15:00	Shisyubhahan 脳性麻痺の子供たちのお世話 (月水金のみ日本人登録のボランティアお手伝い) 他にも映画館や町のマーケット散策などもしました
19:00	ベンガル語レッスン
20:00	シャワー
20:30	早めの夕食 (ホストファミリーは 22 時頃でした)
21:30	就寝

■ShantiDan でのボランティア活動■ (木曜日以外週 6 日)

140 人分のベッドメイキング・洗濯・皮膚病の方の治療を前半で終わらせ、ティータイム。マーシー (施設で働く職員のような方) や患者さんに「アンティアンティ！」と連呼されます。Shantidan はボランティアが少なくやる事がたくさん！約 40 度の灼熱の中、汗を拭く間もない位ボランティアができることがあります。ティータイム後、インド式フルーツカットを経験し(笑)、ネイルやアクティビティ、修羅場の食事介助、歩行とトイレ介助をやって、午前のボランティア終了！



■ランチタイム■

サダルストリート周辺のベンガル料理屋さんやスパニッシュカフェ、bluesky カフェでボランティア仲間と午後の活動に備えて休憩！！

ブルースカイでは店員が無駄がらみ(笑)勝手に隣に座って休憩し始めたり(笑)

さすがインド、自由な国の自由な店員さんでした(笑)



～2 週目～

▲ゲリラの大歓迎▲

とうとう私にもやってきました。Welcome shower という名のゲリラ的な下痢に襲われました。辛い(笑)日本の薬は1ミリも役に立ちません…。インドの薬もらってください！！どこでも手に入って、効き目抜群☆

■ボランティア定休日■（9日目）



木曜日はお休み＆ゲリラ後のリハビリ兼ねてパークストリート散策。コルカタの銀座と言われるだけあってきれいな通り！しかし！失われた体力で3分歩くだけで息が上がり(笑)、オックスフォードカフェで休憩！



＝へろへろになりながら帰宅していると、近所から大音量の音楽が…。アパートの駐車場で急にパーティが開かれ、

見学。プジャのお祭りだったみたいです。インドではデモも多いけど急に祭りが開かれたり、忙しい！！

■ナボジボンでの活動■（12日目）

日曜日のみストリートの子どもたちに施設が解放されるナボジボンへ。

パワフルで爆発的なエネルギーを持つ子どもたちとひたすら遊びます。おんぶ、だっこ、肩車、ホースでびしょびしょになりながらシャンプー＆シャワーをしました

■ティタンガード■（13日目）

月1回木曜日のハンセン病患者の病棟見学（100ルピー）に参加しました。ハンセン病患者の自立支援や、ティタンガードが行っている取り組みについて紹介して頂きました。

■ボリウッド映画■（14日目）

何言っているのかさっぱり理解不能ですが、面白い！！インドで映画にはまり、ネパールでも見ました！！今でもTUTAYAでレンタルしてます笑

でも映画館は空港並みのセキュリティ。カメラ・ペットボトル・食べ物は持ち込み禁止。持ち物身体検査をクリアすると、踊って歌って休んでのボリウッド映画！大体300ルピーで見れます！！



■レインボーホーム訪問■（15日目）



カリガートで何年も働いている井上スミコさんにレインボーホームを案内して頂きました。ボランティアの事、コルカタの就職難、教育問題、カースト制度などインドが抱える問題について井上さんと議論。本当にたくさんのことを考えさせられます。

■ベンガル語レッスン■（週5回）

夜7時～1時間ベンガル語レッスン！家族との会話、施設ではもちろん、カロールさんや近所の人とベンガル語で会話できると本当に楽しい滞在になります！ベンガル語もっと習いたくて教科書買って帰りました☆



16日目 ディープなコルカタ観光

地球の歩き方にもものっていないコルカタの見どころを歩いて観光！

チベット料理モモ



今からたくさん歩くけど、
まず一服〜(。^。)ノ

↓

クモールトゥリ



10月のお祭りプジャに向けて神様
制作中♪

↓

フェリー乗り場



観光のフェリーではなく、通勤通学
買い物の交通手段の一つ！ここから
ハウラーの町へ

↓

ハウラー駅とハウラー橋



人・人・人でごった返しの橋
800mを現地の人と一緒に歩いて
渡りました(笑)

↓

フラワーマーケット



気さくなおじさんたちにお花をもらいながらフラワーマーケット散策(笑)コルカタで一番人が集まる
ところを歩いて、最後は動くサウナの
ような電車で帰宅♪

■コルカタのマーケットシリーズ■

モーニングマーケット



ホームステイ先の近くの朝マーケット！
新鮮な野菜・果物・魚・チキンがたくさん
日本人が通ると写真撮れ撮れ！と陽気なおじさま達
に何度も言われます(笑)



屋台のインドスウィーツ。食べた後、
極度の胃もたれに
陥りました笑



ニューマーケット



ニーハオ！アニョハセヨー！ハロー！と後ろに大行列作りつつ、
値切りしながら買い物！大体最初は高額を突き付けてくるので
1/2～1/10を目安に値下げ(笑)

交渉成功したら一食分のランチ食べれます！！

長ズボン 150 ルピー、Tシャツ 75 ルピー位が相場。

ニューマーケットで買ったズボンは乾きやすく動きやすいので日本の
の衣服よりも重宝してました。毎日のように今でも履いています(笑)

オープンマーケット

シアルダー駅前の高架下に広がるローカルマーケット。
ニューマーケットみたいに声掛けはなく、
地元の雰囲気味わえて楽しめました☆
人人人で溢れかえって、ザ・インドなところ！！
エッグロールやフルーツがおいしい！
ラッシーには要注意☆



夜のマーケット



コルカタは夜からたくさんお店がオープン！

6 時ころ突如マーケットが開かれます

エッグロールはがっつり一食分の量ですが、「おやつ」
として食べます笑！屋台に地元の人たちが集まって
みんなでエッグロール☆

■コルカタの安全なおいしいもの■

☆ブルースカイ☆

ボランティア終了後よくここでランチ♪wi-fi と冷房が完備されています、(^。^)/



ホットプリン



ホウレンソウカレー



ライスヌードル



ハンバーガー



←日本人大好きなユニークな店員さん

☆パークストリートのちょっと高級なお店☆

カロールさんおすすめの美味しいお店!(^^)!



超極甘インドのケーキ☆



スープ (100 ルピー)



チェロケバブ



25 ルピーのエッグロール

☆ホストファミリーでのごはん☆

毎晩マーシーが作ってくれました(*^_^*)



毎日カレーですが、
少しずつ味が違います。
たまにカレーヌードルや
ライスがありました。
ほとんどチャパティと
カレーです♪
最初は飽きましたが(笑)
今は恋しい!!!

☆カロールさんと CEC 参加者で地元の飲み屋さんで飲んだりもしました☆



～6 週目～

■ネパールへ■

最終日、コルカタで出会ったたくさんの仲間と別れて、ネパールへ。コルカタ離れたくない、ネパールキャンセルしたいという気持ちがありまして…(笑)、何度も行きたくないと思いつつ、予定通り飛行機が遅れてネパール到着！！2 週間のネパール生活が始まります☆

ネパールでの 1 日の活動の流れ

6:00	起床&支度
7:00	朝食
9:30	ボランティア先へ
10:30	小学校で 3 コマの授業を担当
13:00	ランチ
14:00	ネパール語レッスン
16:00	次の日の授業の準備 or カトマンズ観光 or 買い物
19:00	帰宅してお昼寝&ホームステイ先の子ともと遊んだり
20:30	夕食
21:30	就寝

■小学校でのボランティア活動■（週 6 日、計 9 日）



びっくりするくらいスパルタ美人先生が多い Mnjshree 小学校の日本語の授業を担当。クラス 5 以上の学年の子供たちは日本語のあいさつや数字、簡単な言葉がわかるので、たくさん日本語で話しかけられます。初日から英語と日本語でできることにびっくり…。どのクラスもパワフルでエネルギー根こそぎもっていかれます笑。同じ日に到着した日本人の子と一緒に授業の準備や歌の練習♪

《ボランティア 1 日目》クラス 3, 7, 8

ロビンさんと道案内してもらいながら小学校へ。スクールで一息つく間もなくクラスへ。教室入ると大声でこんにちはは先生！！と叫ばれます(笑)簡単な自己紹介とクラスの日本語のレベル確認。日本語の歌を一日目に覚えて終



わり。子どもたちは歌やダンスが大好き☆

午後はモモ食べて、ネパール語レッスン、ダルバート散策、ナマステスーパーマーケットで買い物



■ネパール語レッスン■



ロビンさんに文法、動詞、単語を教わりました。一日の出来事をネパール語で話したり、日記にしたりしました。ロビンさんとレッスンできたおかげでネパール語をもっと習いたくなりました。ベンガル語と曜日や数字の単語が同じだったり違ったり、たまに混乱します。

《2・3日目》クラス5,7 3歳～6歳のクラス見学

朝5時にお祈りで鐘を鳴らす近所のおじいさんのおかげで目覚ましくなくても毎朝5時に目が覚めます(笑) 6時頃パタンの町散策。朝から人がたくさん広場に集まっていました。



←歌や自己紹介のフレーズのお勉強をした後、6歳以下の子のクラス見学。3歳の子どもでも机に座って英語を学んでいます…。3歳でも座れるのかと感心。ネパールの教育事情は想像以上に深刻でスパルタなものだと実感。何度も言いますが3歳で机に座っているとは…

《4日目&5日目》

■ナガルコット&バクタプル観光■



←チェイワンさんの娘さんチェスタと一緒にナガルコットのヒマラヤが見えるホテルへ！この小旅行は私にとって4つの奇跡が起こりました。

①2か月間で唯一お湯が出た。②2週間滞在したネパールで唯一シャワーを浴びる。
③トイレが流れる！④ここ数日間ヒマラヤ見れなかったナガルコットでヒマラヤ現れる！！

色んな感動が重なりました。建設中の建物から見るヒマラヤは最高！

お昼からはロビンさんとバクタプル観光。町の人の生活や産業、歴史を教えてもらいながら歩きました。町の人みんな穏やか！

《6日目》インドラジャトラ（国家レベルのお祭りで祝日！）

■カトマンズ観光■



マイクロバスやテンポーで移動。バスはインドより安全運転できれい！でもやっぱり120%の乗車率です笑。コルカタではベンガル語とボランティアに没頭してほとんど自分で観光をしなかったのが、反省を生かし(笑)、地球の歩き方に紹介されているお店とお寺は制覇。ちょうど、カトマンズの大事な大事なお祭り「クマリ」に参加。広場は嵐やAKBのコンサートのような盛り上がり方。外国人は外国人観覧席に行くべき。地元の人々の観覧エリア行くと息をする間を与えてくれないくらいの騒がしさです(笑)日本人が仕事で忙しいのと同じく、ネパール人は祭りで忙しい。

《7・8日目》折り紙DAY



この日はレッスンではなく、折り紙遊び！！みんなとっても楽しそう！たまに金銀色で取り合いになってケンカ始まったり、飽きちゃったりする子も…。どんどん次！次！と言われるのでたくさん折り紙ネタ持って行った方がよいかもしれません。子どもたちからのリクエストに答えるのが一番大変です(^J^)



←ネパール語レッスン後はアクティビティの準備&制作作業

昼食は2か月ぶりの日本食「だんらん」で天井！トイレも綺麗！久しぶりの日本の味&サービスを堪能しました、(^。^)/

《9日目》



初めてクラス1, 2, 3を担当。みんな小さい!!! 日本人の先生となるとまず椅子に座ってられない笑途中けんかが始まる…。まだ英語が通じない子もいるので静かにさせるのが非常に難しい。ちょっと失礼ですが、動物園のような騒がしさです笑
レッスン後生徒にティフィン（ネパールの軽いランチ）をみんなから少しずつ頂きました。食べて食べて!と口につっこまれました(笑)

《10日目》



毎週金曜日は peace 学習のアクティビティがあります。ネパール人ボランティアの先生が来て自由にお絵かきするクラス。ネパールの詰め込み教育は深刻なので、学校独自に子供たちの感情教育を行っています。日本でいう道徳や総合に似ているかもしれません。先生たちの教育にける思いもお聞きすることができました。

《11日目》

■キルティプル■

ロビンさんとサムリ君(息子さん)と同じときに参加していたGECの5人とキルティプルまでトレッキング!
ロビンさんのネパールの歴史や文化の話がとても面白い!そして、みんなでワイワイ話しながら歩いたので

全然疲れませんでした! マンジュシュリーブリッジやたくさんの丘を登りました。

←お昼はネワリ伝統料理、(^。^)
ノとても美味しくてもう一度行きたいお店です!



《12日目》



■ネパール映画■

インドで映画にはまったので、ネパール映画も行ってきました。ストーリーがとてもゆっくり(笑) ボリウッド映画と違ってアクションは少なく、のんびり。ネパールの国民性なのでしょうね(笑)。もちろんネパール語のみで意味はまったくわかりません(^J^)

《13日目》 children day



ネパールのこどもの日。学校では子供たちと先生がダンスや歌でパーティ! 普段は鬼のようにスパルタな先生たちが教室から離れると本当に優しい普通の「おじさん・おばさん」になります(笑) 子供たちも先生を恐れる人はいません。先生も一緒に子供たちとダンスして盛り上がる日。学年関係なく3歳~16歳の子供たちがダンスを披露してくれました。最後に日本のダンスか歌を踊れと2分で考えお披露目…。クオリティの低さに申し訳ない気持ちでしたが、みんな笑ってくれてなんとか乗り越えられました(*^_^*) 最後は先生から生徒にノートやペンをプレ

ゼント。学校全体が家族のような存在になっているような気がしました。

《14 日目》 小学校最終日

次の日から学校の大きなテストが 1 週間あるので今日が最後とレッスン前に知らされました…。え！！！と思い、寂しさ湧き上がる間もなく早速レッスンへ。買い物ゲームを行いました。買い物に関する日本語を覚えながらゲーム。日本の八百屋をイメージして作ったのですが、さすがネパールの子供たち、販売の時に量り売りを始めました。地味に文化差感じました(笑)



最後先生たちとお話して、「日本の先生はどこ？うちの

子が日本語話してるんです！私にも会わせて。子供に日本語教えてくれてありがとう」とある保護者が前日に面談の時にしゃっていたそうです。本当にこのスクールで日本語の授業を担当できてよかった。先生たちから、「ネパールの教育は詰め込み教育。先進国の教育システムのように理科の実験や社会科見学のような授業はできる環境がない。子供たちが授業での楽しみがないからこの学校ではアクティビティを1つでも多く取り入れている。その一つに日本語教育。子供の満面の笑み、楽しそうな授業。本当にうれしい。ありがとう」と伝えてくれました。

本当にこの学校に来て良かったと心の底から感動。日本語をいかにうまく話せるか、実用的な日本語を教えるかではなく、子供たちが楽しめる日本語や日本文化、詰め込み教育の中で少しでも多くの事に興味関心を示してくれるようになってほしいなと思います。それが日本のことであれば本当にうれしい。将来「日本で働く」ことが選択肢の一つになっていればなと思います。

《15 日目》

最後 2 日間だけネパールのマザーハウスでボランティア。掃除洗濯シャワー介護をしました。コルカタに比べると秩序がなく、全体的に汚い…。患者さんも自由に出入りや食事をとってました。コルカタとはやり方が全く違います。ネパール文化に合わせているやり方なんだと思います。



←活動後はボランティアで知り合ったネパールの高校生のお兄さんのモモの店でモモ作り。一人だったら絶対に入っていないような狭くて薄暗いローカルすぎるお店。でも味はとっても美味しく 10 個位頂きました。

《16 日目》

朝マザーハウスに行って午後はお土産探しと最後に今まで避けてきた食べ物の食べ歩き(笑)(最終日だしお腹壊しても多分大丈夫だから)

屋台のお菓子 8 種類、カフェのケーキなど。ジャーレービーという油のお菓子はやはり胃もたれたので急遽近くのレストランで焼き飯(笑)何とか油の気持ち悪さはなくなりました:-)



ロビンさん家で最後の夕食(*_*)本当に帰りたくなかった(*_*)最後の夕食は本当に美味しくてたくさんおかわり！サトビりさんの作るカレーとサムリ君とリトナちゃんロビンさんとおしゃべりしながら食べる雰囲気大好き。ロビンさんは私の第二の父です。本当にたくさんお世話になりました！！特にネパール語。ファミリー全員で写真とってチェイワンさんと空港へ。ロビンさんファミリーと小学校があるから最高のネパール滞在になりました。きっとこの2つに出会ってなかったらコルカタに帰っていたでしょう…。空港到着、早速停電でシステムストップ。やっと搭乗ゲートついたと思ったら飛行機来ない。予定通り遅れて

出国、のんびり香港着いたと思いたかった。遅れて出発したので香港着いた時には羽田行があと5分で離陸…。着陸と同時に呼び出され(笑)、スタッフと必死に香港空港を駆け抜けたのもいい思い出です(笑)

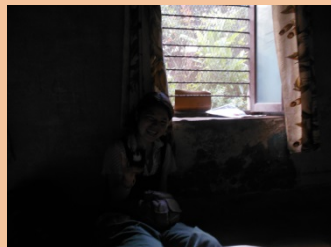
チェイワンさん家



玄関



キッチン



リビング



ホストマザーと(^J^)

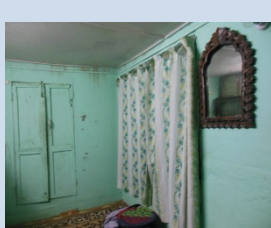
家の造りはとても古く、よく頭をぶつけてたんこぶができてました(笑)

日本・インドの暮らしと違い過ぎるネパールの暮らし。色々な意味で楽しめました☆

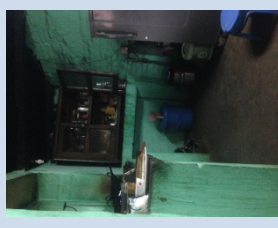
ロビンさん宅



よく頭をぶつける階段



ゲストルーム



リビング



シャワー



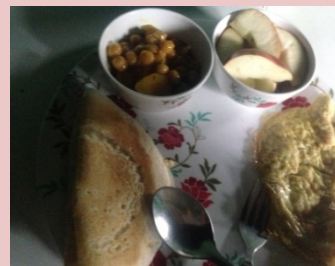
トイレ

家の造りはとても古く、よくネズミが出ましたが(笑)、家族みんな明るく楽しい家庭です！大好きな家族です☆

☆コルカタ・ネパールのおうち事情☆

コルカタは決して日本ほど快適な家とは言えませんが、ネパールと比較すると本当に快適！！たまに停電断水を経験しましたが、ネパールほどではありません。ネパールは16時間の停電、水不足で、夜の停電時間は暗く、トイレの水も雨水で流しています。コルカタでは毎日シャワー浴びてましたが、ネパールでは週に1回(私は2週間入れませんでした笑)トイレの流し方も家庭によって違ったり、店によっては流さなくて良かったりします(笑)大抵、家の外がトイレなので、夜中に行くときは大変！暗くて狭い階段を下りて、難しい鍵を開け、天井に頭をぶつけ、地面を滑りそうになりながらトイレにたどりつくことができます。トイレに行くのここでは気を休められません(笑)

ネパールのごはん！！



サトビリさんの夕食

ニーラムさんの夕食

好物のドーナッツみたいな朝食

ロビンさん宅の朝食

ネパールの食事はインドに比べると何の警戒もなく食べることができます！！味も日本人に合ってとても美味しい！！

激甘屋台スイーツ



もしお腹とところに余裕があったら
挑戦してほしい屋台スイーツ☆
ココナッツの甘さが過激です(笑)
美味しい！と自信持って
おススメはできませんが、
1つは食べてみてください♪
美味しい時もあります(笑)

☆コルカタ・ネパール食事情☆

まず、ネパールではほとんどの食べ物において警戒せず安心して食べられます！しかも美味しい！抵抗のあった屋台の食べ物も火が通ったものであれば大抵のものは大丈夫！なぜか、同じ食べ物でもコルカタよりも美味しく感じます…。インドでは前日に食べたものが今日も美味しいとは限りません。1日目に飲んだ美味しいラッシー、2回目に飲んだ時にはゲリラに襲われることもあります…。品質を一定に保っていない適当さ(笑)。危険と言われ続けた屋台の食べ物も最後の方では挑戦！現地の人と一緒に食べて食べるごはんも美味しいです！（安全かどうかは十分に気を付けてください・・・）食べてるだけで屋台のおじちゃんたち大喜びしてくます(笑)

■2 か月間総括☆■

コルカタはとにかく刺激的な毎日！インド3回目、1か月間インドで暮らしても毎日想定外のことが起こります(笑)彼らには「時間とルール」は持っていないので一緒に過ごすとなるとやっぱり大変。理解しあえない部分もたまにあります、諦めるしかありません…。でも本当にいい人ばかり！乗るバス間違えて、違う駅で下されたとき、一人に道聞くと、バス停にいたインド人全員に駆け寄られ、全員で道案内をしてもらいました(笑)困っている人を見ると助けたくなる人種なのかもしれません。たまに間違えちゃうけど。

ゲリラ的な下痢に襲われ、辛かった1週間、生きて日本には帰れないと思ってました。カロールさんに一報いれると、近所のシュプロムさんが(多分)夜中にやってきてくれました。ホストマザーにでかい錠剤を口に突っ込まれたり、おかゆを寝ながら口に突っ込まれたり、インド人の荒療治を経験。そのおかげで死を覚悟したゲリラから2日間で復活、1週間後には観光に行けるくらいになりました。でも病み上がりは体力的な仕事は一切できず、ShantiDanのボランティアルームで休んだり、ベトナム人中国人ボランティアから薬もらったり、ビタミンになるものを買ってもらったり…、たくさんの人の優しさを頂きました。本当に嬉しかった。ボランティア登録会に来てくれた同じ日本人やシスターから温かい言葉ももらいました。



ShantiDanの長期ボランティアは8月は私だけの環境で、楽しかった～とは思えませんが、最後の方ではシスター、マーシーから仕事を任されたり、患者さんからいつもものやってと言われたり、長期で滞在できたからこそ得た大変さと達成感。あまりボランティアとは話さない一人のマーシーが、生水で洗った包丁、床で切ったパパイヤを口に突っ込んできたときは、新卒のいじめかと思いました(笑)再びゲリラに襲われたら死ぬまで許すつもりはありませんでした(笑)その日から私へのいじめなのかわかりませんが、ジョークを言い合いながら仕事。その名はアーサーマーシー。一生顔忘れません！！！！

ネパールはインドで荒波に揉まれた反面、本当に穏やかな生活。コルカタの朝5時起きから解放された～と思っていたら大間違いで(笑)、5時までに家の前でお参りして鐘を鳴らす人数！早朝に自然と起こされます…。そして朝世界遺産歩いたり、電気があるうちに小学校でのアクティビティ作り。電気が限られているので、時間の大切さ感じます。日本では24時間電気をつけることが可能なので、24時間仕事をする事ができる。でもネパールでは、電気がなくなると仕事ができなくなるので、強制終了。アクティビティ作りも夜やろう～とのんきなこと言われず、ネパール語レッスン後や朝授業の前に作りました☆



近年の急速な近代化で道が広くなったけれど、電線がそのまま切れたまま。誰も困ってないから直さないのでしょうか…。道も日本や中国の出資でゆっくりと作られています。無計画な道路工事とは反対、計画的な教育。3歳から英語の授業。小学校の先生と何回もネパールの教育について議論。その度に今生徒に必要な日本語の授業は何かを考え授業の準備。小学校の先生が本当に毎日生徒について考えています。生徒のために限られた時間と資源や設備で挑戦し続ける先生たち、私の尊敬する人たちです。

初めての長期滞在。本当に2か月間CECのプログラムで申し込みをしてよかったと心の底から感じてます。ボランティアだけでなく、ヨガ、ボリウッド映画、ベンガル語ネパール語レッスン、ガイドブックには載っていないような観光を経験したり、乗り物を全部制覇、色んな形式のお宅訪問できたり…、毎日が刺激的で飽きることなく生活を送りました。カロールさん、シュプロムさん、ロビンさん、チェイワンさんがいたから色んな事に挑戦でたんだと思います。



インド人の天然さから始まり、ゲリラの大歓迎、ノンストップでたくさんの経験宝物財産を58日間いただき続けました。そして世界中のボランティア仲間ができて、帰りたい場所にもなりました。きっと何年後にはまた懲りずにコルカタに在るでしょう(笑)小学校の生徒の成長した姿もみたいなあ。この2か月間を通して自分がどう変わったか言葉では説明はできませんが、いつかまたコルカタとネパールに帰ります!!!



★58日間プチまとめ★

カレーを食べた日数…56日間

トイレについて真剣に考えた日数…50日

ホットなシャワーを浴びた日数…1日

9月のシャワーの日数…1日

愛するラッシーの恐怖を感じた回数…52日間

何故だインド人ネパール人と思った回数…58日間

最後に、たくさん相談にのってくれた大吉さん、航空券やホームステイ先を手配してくれたCECの皆様、現地ガイドのカロールさん、チェイワンさん、ロビンさん、ゲリラから救ってくれたシュプロムさん、ホームステイ先のママパパ、一緒にボランティアしてくれた方々、笑いをくれたインド人、本当にありがとうございました。またいつかどこかで私と会ってください(*^_^*)